



😊 地域の日本語教室のサポートで

日本語を学び…外国人生徒等選抜入試で

高校進学！

- 小6 日本語ゼロでフィリピンから来日
- 地域多文化ネット「W K Y」で日本語支援や進路情報などを得る
- 大府市内の公立小・中学校を卒業
- 愛知県立 東浦高校1年在学中



● 小学校～中学校

小6のとき、小2の妹と来日しました。日本で働いている両親と一緒に暮らせるようになったのはうれしかったけど、生活や人との関わり方の違いなどについては、ちょっと怖い気持ちもありました。

来日してすぐ小学校に入り、はじめはクラスの子たちは別の教室で日本語を勉強しました。その後、自分のクラスで受ける授業が増えていき、中学校3年生の頃には全教科をみんなと同じ教室で受けていました。よく分からないこともあったけど、「何とかなりそうだなあ」と思えるようになりました。

● 来日3年目で東浦高校 普通科に進学・入学試験

「外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる入学者選抜」※(p.16)という試験を受けました。試験科目は国語、数学、英語。問題にはルビがふってあるし、入学後も日本語などのサポートがあると

知って、この学校がいいなと思いました。入学試験のために過去問を解いて、国語の文法問題や、数学で苦手な確率を復習したりしました。

※小学校第4学年以上の学年に編入学した人などが対象

● 高校入学後

1年生の間だけ国語、数学、理科、社会の取り出し授業があって、クラスと同じ内容を先生がわかりやすい日本語で説明してくれます。母国語は使わないルールですが、先生が面白くて授業が楽しいです。

今は、まだ取り出し授業が多いのでクラスには話したことがない子もいますが、部活では仲のいい友達ができました。

● 日本語の学習

来日したときは、日本語が全く分からなかったの

で、学校の保護者面談のとき通訳さんに教えてもらった地域の日本語教室に、週2回通いはじめました。日本語や、学校の授業で分からなかったところを

教えてもらっていました。高校生になった今も通い続けていて、日本語のレベルアップを目指しています。この教室があって本当に良かった！ みなさんも、地域の日本語教室が近くにないか、ぜひ聞いてみるといいと思います。それから、日本語に慣れるためには、ちょっとでも友達と話すようにするといいと思います。

● 将来の目標

中学の職場体験で、保育園に行ったのが楽しくて保育士になりたいと思うようになりました。そのために、高校卒業後は短大に進学したいです。

そうごうがっか しょうらい きぼう ぎやくさん
総合学科、将来の希望から逆算して
いま学ぶべきことを選択する

- 母親のルーツはブラジル
- 日本生まれ
- みよし市、豊田市内の公立小・中学校を卒業
- 愛知県立 豊田東高校 総合学科2年在学中



しょうがっこう ちゅうがっこう
● 小学校～中学校

がっこうせいがっかの 学校生活で楽しかったことは友達^{ともだち}ができたこと。嫌^{いや}だったのは保育園^{ほいくえん}の時に先生^{せんせい}に通訳^{つうやく}を頼^{たの}まれたり、日本語^{にほんご}のほう^{とくい}が得意^{がいこくじんあつか}なのに外国人^{がいこくじんあつか}扱い^{あつか}されたりしたこと。小さいころからいまではポルトガル語^{ポルトガル語}、園^{えん}や学校^{がっこう}では日本語^{にほんご}。日本語^{にほんご}が日本人^{にほんじん}の子^こよりできない^{おも}と思った^{おも}ことはありません。中学校^{ちゅうがっこう}では平均^{へいきんてき}的な成績^{せいせき}を維持^{いじ}し、得意^{とくい}な数学^{すうがく}は特に頑張^{とく}りました。

とよたひがしこうこう そうごうがっか えら りゆう
● 豊田東高校 総合学科(p.15)を選んだ理由

きっかけは、中3^{ちゅう}の夏休^{なつやす}みに母^{はは}と一緒に^{いっしょ}行った体験^{たいけん}入学^{にゅうがく}。高1^{こう}の「産業^{さんぎょう}社会^{しゃかい}と人間^{にんげん}」という授業^{じゅぎょう}がとくちょうてき^{とくちょうてき}で気に入^{きい}りました。いろいろな分野^{ぶん}の専門^{せんもん}家が実^じ際の仕^し事^{ごと}の話^{はなし}をしてくれるんです。それから、授業^{じゅぎょう}で発表^{はつひょう}が多いこと。社会^{しゃかい}に出^でたら、プレゼン^{ひつよう}のスキル^{こうしゃ}が必要^{ひつよう}になると思った^{おも}んです。校舎^{こうしゃ}も

あたらしい 新しく^{あた}てきれいだし、職員^{しよくいん}室^{しつ}の前^{まえ}に机^{つくえ}が並^{なら}んでいて勉強^{べんきょう}でき、先生^{せんせい}をつかまえて質問^{しつもん}できるのもとてもいいです。「大学^{だいがく}までは義務^{ぎむ}教育^{きょういく}」と親^{おや}に言^いわれて育^{そだ}ち、私^{わたし}自身^{じしん}も工場^{こうじょう}で働^{はたら}くのは嫌^{いや}だと思^{おも}っていたので、オフィス^{はたら}で働^{はたら}くために必要^{ひつよう}なことをこの学^{がっ}校^{こう}で学^{まな}べると思^{おも}いました。

そうごうがっか
● 総合学科IIのコース

こう2からは、なりた職業^{しよくぎょう}によってコース^わに分^{わか}れて勉強^{べんきょう}します。大学^{だいがく}進学^{しんがく}希望^{きぼう}の人^{ひと}には「理^りプラン」と「文^{ぶん}プラン」の2つのコース、就職^{しゅうしよく}または専門^{せんもん}学^{がく}校^{こう}進学^{しんがく}希望^{きぼう}の人^{ひと}には「看護^{かんご}」、「外国^{がいこく}語^ご」、「調理^{ちょうり}・栄^{えい}養^{よう}」、「服飾^{ふくしよく}」、「保育^{ほいく}」、「福祉^{ふくし}・健康^{けんこう}」、「ビジネス^{びじゅつ}」、「美術^{おんがく}」、「音楽^{おんがく}」の9つのコースがあり、授業^{じゅぎょう}の内容^{ないよう}が違^{ちが}います。コース選^{せん}択^{たく}については先生^{せんせい}ともよく相^{そう}談^{だん}して決^きめました。私^{わたし}は情^{じょう}報^{ほう}系^{けい}の大学^{だいがく}に進^{すす}

みたいので、「理^りプラン」で進^{しん}学^{がく}のための勉^{べん}強^{きょう}をし
ています。

こうこう べんきょう そつぎょうご
● 高校での勉強と卒業後のこと

かだい おお べんきょう きび ぶん ちから
課題^{かだい}が多く、勉強^{べんきょう}は厳^{きび}しいですが、その分^{ぶん}、力^{ちから}になっ
ていると感^{かん}じます。中^{ちゅう}学^{がく}校^{こう}とは違^{ちが}い自^じ己^こ責^{せき}任^{にん}
が大きい大^{おお}変^{たい}ですが、友^{とも}達^{だち}と一^{いっ}緒^{しょ}なので、学^{がっ}校^{こう}生^{せい}活^{かつ}
は楽^{たの}しいです。将^{しょう}来^{らい}のことについ
て母^{はは}とよく話^{はなし}をし
ます。大^{だい}卒^{そつ}は給^{きゅう}料^{りょう}は高^{たか}いが学^{がく}費^ひも高^{たか}いことなど…。
だから、地^ち方^{ほう}でもこ
国^{こく}立^{りつ}大^{だい}学^{がく} (p.45-47,49) を
めざ
目^め指^さして
います。大^{だい}学^{がく}の寮^{りょう}に入^{はい}れ
れば、親^{おや}の負^ふ担^{たん}を
けいげん
軽^{おも}減^{げん}でき
ると思^{おも}うから
です。

こうこう えら
● これから高校を選ぶあなたへ

しょうらい きぼう ぎやくさん まな
将来^{しょうらい}の希^き望^{ぼう}から逆^{ぎやく}算^{さん}して、いま学^{まな}ぶべきことを
じぶん かんが ひと そうごうがっか すす
自分^{じぶん}で考^{かんが}えら
れる人^{ひと}には、総^{そう}合^{ごう}学^{がく}科^かを勧^{すす}めます!



ブラジル人学校から昼間定時制高校へ 目標を決めて進路変更

- ブラジル サンパウロ市生まれ
- ブラジルで中学校卒業
- 15歳のとき来日し、ブラジル人学校高等部編入
- 愛知県立刈谷東高校 昼間定時制3年在学中
- 地域の日本語教室で日本語支援や進路情報などを得る



●アルバイトをしながら日本語と学費の準備

日本のことをほとんど知らずに来日しました。一年中寒い国だと思ってたくらいです。はじめはブラジル人学校に通いましたが、しばらく日本に住みたいと思って日本の高校を目指すことにしました。日本語を勉強しながらファストフード店でアルバイトを始めたのですが、人と関わりたくても言葉が分からないのでフラストレーションが溜まって苦しかったです。それで日本語の勉強も毎日がんばりました。日本はバイト代で洋服を買ったり、行きたいところへも行けて、ブラジルより豊かな暮らしができる国なんだと実感。バイト代を貯めて、高校の入学に必要な費用も自分で準備しました。

地域の日本語教室には色々な国から来た仲間が15人くらいいて、高校目指して一緒に勉強し、

充実した一年でした。入試のあと結果が出るまで吐きそうなぐらい不安だったことも思い出です。

●高校での勉強

刈谷東高校の昼間定時制課程(p.21-22)は1日4時間授業、4年間で、1年生は9:00~13:00と10:50~15:20のどちらかを選ぶことができます。ただ、3年で卒業したい人は2年生から6時間授業を受けられます。この高校には夜間定時制課程と通信制課程もあり、夜間は工業科です。私の学年には外国人が10人くらいいて、週1回、放課後、母語が分かる先生が日本語を教えてください。授業のとき分からないことを隣で教えてくれる母語サポートもあります。私の場合1年生の後半には授業が大体わかるようになり、2年生ではサポート

がいらなくなりました。化学や古典は少し難しいけれど、「単語を覚えるしかないんだ」と分かってからは、とにかく覚えて点数がとれるようになりました。頑張るしかないです。私はほかの生徒より年齢が高いのもあって、3年卒業を目指しています。

●目標は管理栄養士

進路を考える時間に高校の先生が職業についての資料を見せてくださって、スポーツ選手のパフォーマンスを上げるために食事を管理する「管理栄養士」という仕事があるのを知りました。ぜひやってみたい!と思い、資格がとれる大学を探しました。高校で部活を頑張ったことも評価されて、指定校推薦(p.44)をもらうことができたんです。大学に進学して、管理栄養士を目指します!

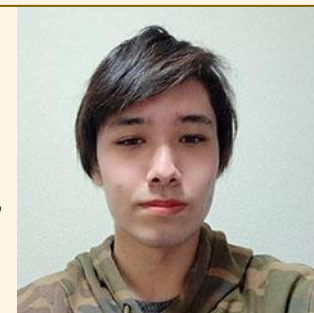


インタビュー
高校生4

ヒガ ケンジさん 豊田西高校 夜間定時制 普通科3年生
とよたにしこうこう やかんていじせい ふつうか ねんせい

高校生になってから 来日した困難を乗り越えて

- 6歳まで 日本で過ごす
- 6~16歳 ブラジルで過ごす
ブラジルで高校進学
- 16歳のとき来日
- 地域の日本語教室で約5カ月の日本語学習
- 豊田西高校 夜間定時制課程へ進学



来日と高校進学

16歳で日本へ来ましたが、本心を言えばブラジルで高校を続けたい気持ちがありました。しかし、母親が日本にいたこと、18歳を超えると日系4世のビザが出ないこともあり、来日を決意しました。

とはいえ、日本で勉強を続けるために高校へ入ることを考えると、日本語のレベルが心配でした。

地域の日本語教室で勉強を始めて5カ月くらいで、高校受験を迎えました。夜間定時制課程(p19-20)を選んだのは、働いて母を助けたいと思ったこと、家から近いこと、試験の内容が作文と面接だったので、大丈夫かなと思ったことからです。

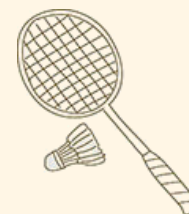
定時制高校での高校生活

1年生の間は勉強があまりわかりませんでした。

2年生になると教科書を読んで理解できるようになってきたし、説明が分かるようになりました。定期テストでは追試や赤点があります。分からないことは日本人の友達に助けをもらったり、先生に聞いたりしています。先生方はやさしくて、授業の後に説明してもらうこともあります。黙っている分らないので、最初は「教えてください」と言いに行きました。卒業したら専門学校に進学することを希望していますが、今は高校が楽しいので、ずっと高校生のままでいたいです。

夜間定時制ケンジさんの生活時間

- AM6:00 起床
- AM7:00~10:00(11:00) アルバイト
- 帰宅して昼食、予習復習等準備
- PM4:00 登校(電車と歩き)
- 給食
- PM5:54~9:00 授業
- 部活(バドミントン部)
- PM11:00 帰宅
- AM0:00 就寝



定時制高校の授業は、一日4時間です。
学校へ着くと授業前に給食を食べます。(1時間目の後に食べる学校もあります。)
ケンジさんの学校では、部活はバドミントン部だけです。
ケンジさんは早朝のアルバイト以外に土曜日、日曜日にもアルバイトをすることもあります。